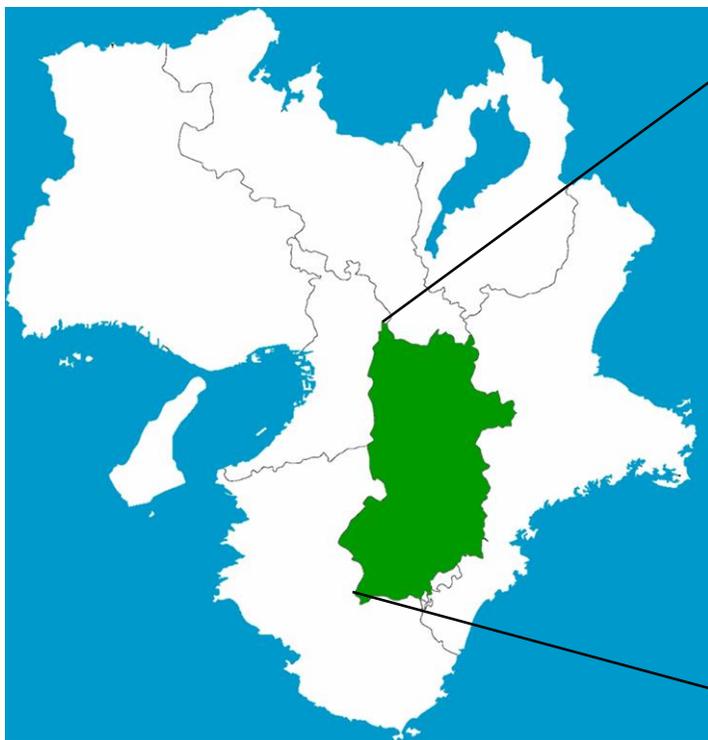


SDGsに貢献できる温泉郷を目指して  
地域循環共生圏  
「十津川村ゼロカーボンカントリー」構想へ

奈良県十津川村  
企画観光課 玉置 雄一郎

# 十津川村の位置

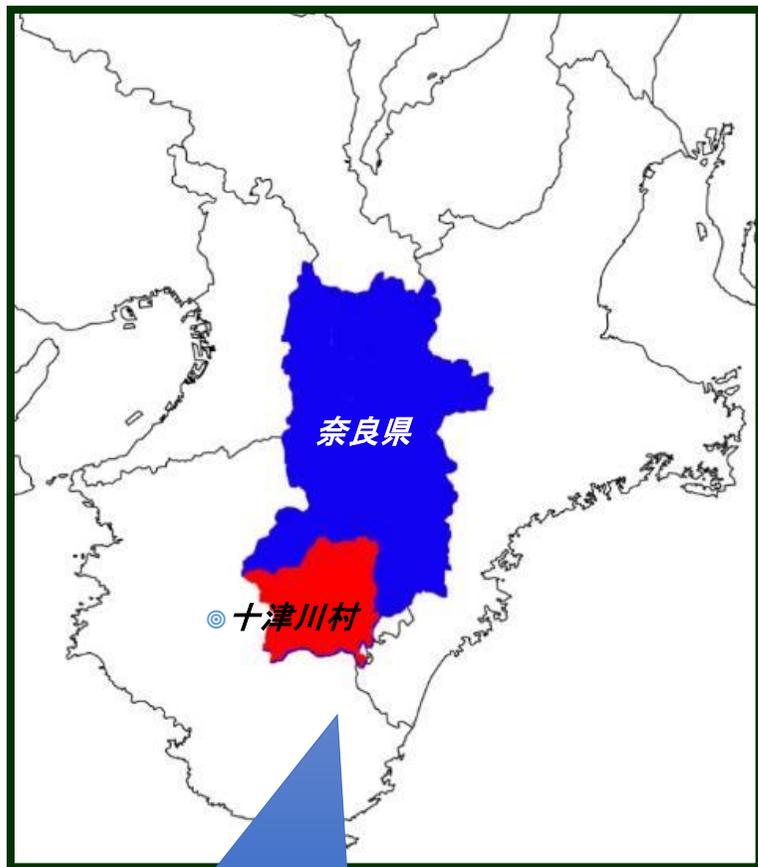


☆紀伊半島の中央、奈良県の最南端に位置

☆総面積672km<sup>2</sup>（奈良県の5分の1）

→東京23区、琵琶湖、淡路島より大きい！

## 【十津川村の概要】



紀伊半島のほぼ中央。  
奈良県の最南端

- ◆ 面積 672.38平方キロメートル
- ◆ 奈良県の5分の1 日本一広い村
- ◆ 琵琶湖や淡路島よりも大きい
- ◆ 村の96%が森林
- ◆ 急峻な地形の緩やかな部分に  
200以上の集落が点在
- ◆ 過疎・少子高齢化が進んでいる

# 十津川村の風景



# 十津川村の風景



# 十津川村の風景



# 【十津川村の観光資源（世界遺産の道）】



# 【十津川村の観光資源（源泉かけ流しの温泉）】



# コンシェルジュ事業について

## ●応募の背景・経緯

SDGsに貢献できる温泉郷を目指したいが、温泉熱有効活用に向けた展開・導入検討の方法が分からない！

## ●事業の成果

令和4年度（支援初年度）

- ①温泉が保有する熱量「温泉熱ポテンシャル」を知り、温泉という資源の新たな価値を見いだせた。
- ②温泉熱の有効活用によって持続可能な脱炭素地域づくりが推進出来ること見いだせた。
- ③温泉熱有効活用に向けたソフト・ハード両面の国等支援事業の概要を知り、温泉熱を熱交換し給湯する仕組みを備えた公衆浴場の統合施設整備に向けた構想が持てた。
- ④その構想を基として、ソフト・ハード面の事業構想を、令和4年12月に環境大臣要望として提出できた。

# コンシェルジュ事業について

## ●応募の背景・経緯

SDGsに貢献できる温泉郷を目指したいが、温泉熱有効活用に向けた展開・導入検討の方法が分からない！

## ●事業の成果

令和5年度（支援2年目）

①現在の公衆浴場の再編、温泉熱を活用した統合温浴施設の整備に向けて、具体的な動きへとつながってきた。

②温泉供給設備（温泉引湯管）の高効率化改修について、村の温泉環境に最適な導入方法、整備イメージ、スケジュール感など、具体的に構想がもてることができた。

ご清聴ありがとうございました

